



国際RI第2730地区

宮崎南RC週報



**奉仕の精神を大事にして継続性のある
楽しく充実したロータリー活動の実践を！**

ロータリー月間
親睦活動月間

第2112回例会

2022.6.27

会長／田中 寛 幹事／田中靖彦
 副会長／山地久守 会報／長澤好太郎
 例会場／宮崎観光ホテル
 ソング／日も風も星も

会長挨拶



本日は、女性の人権に関する新しい法律の制定について話をさせていただきます。

DVや性被害、貧困などの様々な困難を抱える女性を支援するいわゆる女性支援新法（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）が、本年5月（19日）国会で可決成立了。施行は、2024（令和6）年4月からになります。

上記法律は、女性の人権擁護や福祉増進を掲げて、国や自治体が支援に取り組むべき責務を規定しています。国が基本方針を定め、都道府県はそれをふまえて計画を作るよう義務付けられます。市町村の計画策定は努力義務ですが、自治体は、民間の支援団体や関係機関と調整会議を設け、支援内容を話し合うこととされています。民間団体に対する費用の補助も盛り込まれています。最近女性からのDVの相談件数が急増しており、特に新型コロナウィルス流行の中において、女性が直面しているいろいろな問題が数多く発生している中での新法成立です。この新法が成立したことによって、女性の人権が擁護され、女性の社会内での権利の確立と自立の後押しとなり、女性の社会進出につながること、ひいては将来において、ロータリークラブの女性会員増につながることを強く期待しています。

私の会長年度における例会も、本日が最後の例会になりました。この1年間、皆様の全面的なご協力とご支援をいただいたことに対し、心から感謝申し上げます。

出席委員会報告

中武照利委員長

●出席状況

本日状況	
会員数	(50) 52名
本日欠席者数	20名
本日出席者数	30名
出席率	64.00%

前々回修正出席状況	
メークアップ数	2名
修正出席率	80.39%
メークアップされた方	
寺村明之会員、橋口 徹会員	

ニコニコ BOX	1件 累計	10000円 368,000円
-------------	----------	--------------------

募金箱	0円 累計 160,981円
-----	-------------------

幹事報告

田中靖彦幹事



2024～2025年度ガバナー決定について
2021～2022年度

ガバナーノミニー・デジグネット
 笹山義弘（ささやまよしひろ）
 所属：加治木ロータリークラブ

ニコニコBOX

田中 寛会員

当クラブ会員の皆様の全面的なご協力とご支援により、無事田中年度の最終例会をむかえることができました。

本当にありがとうございました。

職業奉仕委員会

戸高勝利委員長



6月13日に社会奉仕賞を受賞されました、飯干畠二、由美子ご夫妻より御礼のお電話を頂きました。「受賞を機に、靴の修理・神武さまの手伝いに頑張ります。南ロータリーの皆様有難うございました。」とのことでした。

次年度会長より

開地俊昭会長エレクト



ガバナー公式訪問前
クラブ協議会開催のご案内

8月1日(月)のガバナー公式訪問に備えて、事前にクラブ協議会を開催

いたしたいと存じますので、ご多忙の中恐れ入りますが、ご出席下さいますよう、よろしくお願ひします。尚、委員長さんご欠席の場合は、必ず副委員長さんの出席をお願い致します。

日時：令和4年7月11日(月) 18:30～

場所：宮崎観光ホテル

三役退任挨拶

会長退任挨拶

田中 寛会長



私の会長年度における例会も、本日が最後の例会になりました。本年度の最初の例会当日である昨年7月5日の午前中に、スマホを見ながら運転していた後続車からノーブレーキの追突事故の被害にあいましたので、不運と言えば不運ともいえました。しかし、車が壊れただけで、体は全くどこも怪我をせずに当日の会長あいさつも出来ましたし、その後本日まで病気もせず、かつ怪我もしませんでしたので、今では運が良かったものと考えています。これもひとえに、当ロータリークラブの会員の皆様の会務運営に対する全面的なご協力と、あたたかいご支援の賜物と心から感謝しております。

本年度は、入会3年以内の会員を対象に、共通のテキストを使って、勉強会をすることを考えおりましたが、新型コロナウィルスの流行により実施できませんでした。ロータリー活動を楽しいものにするためには、入会当初に、ロータリーとは何かを勉強することが重要ではないかと思います。当会では、戸高会長年度に、私が講師役の任命を受けて、入会3年以内の会員の皆様と一緒に共通のテキストを使って勉強会を実施させていただきました。次年度は、テキストも新しい内容に変わったようですので、入会3年以内の会員を対象とし、それ以外の会員は任意参加が出来る形にして、新しいテキストを使って是非勉強会を実施していただこうとお願い致します。また、中堅、ベテランの会員から、自分もロータリーが十分わかっている訳ではないとのご意見もお聞きしましたので、出来れば、新しいテキストを当ロータリークラブの会員全員に配布していただければありがたいと思います。上記勉強会の実施につきましては、当年度及び次年度ロータリー情報委員会の大迫

三郎委員長の了解が必要ですので、大迫委員長の了解がいただければ、是非実施していただこうとお願い致します。

ロータリークラブについての理解という点について述べますと、これまでにも会長あいさつで述べましたが、当ロータリークラブは、毎回の例会の際に、「ロータリーの綱領」及び「国際ロータリの職業宣言」の唱和や「ロータリーの目的」の唱和をし、かつ「四つのテスト」や「奉仕の理想」「南のつどい」の歌を全員で歌い、また夜間例会の終わりに「手に手つないで」の歌を全員で手をつなぎながら歌うこと等が恒例になっていますが、上記唱和している内容や歌の内容等がよくロータリーの精神を表していると思いますし、当ロータリークラブの会員は、通常の例会や夜間例会等を通じて、自然とロータリーの精神が身についていくものと思いますので、ずっと続けていくべきだと思います。

私の会長年度では、重点目標である会員10名増や女性会員増を含め、十分達成はできませんでしたが、達成に向けた当会内部での苦労もあり、ロータリーについて大変勉強になりました。皆様の全面的なご協力に感謝致します。また、当ロータリークラブの細則等の規定の見直しもまだ検討中ですが、定款や細則について私が勘違いをしていた点もありましたので、会員増のあり方や、規定の一部改正を含め、次年度の開地会長年度にきちんと引き継ぎをし、次年度会長の後押しをしたいと思っております。

最後になりますが、私の会長年度を支えていただいた田中靖彦幹事、山地久守副会長をはじめ当クラブの役員の皆様、会員の皆様、また会務に関する事務をてきぱきとこなしてもらった事務局の奥野さんにこの一年間大変お世話になったことを心からお礼申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。

副会長退任挨拶

山地久守副会長



皆様こんにちは。今年度、副会長を仰せつかっていました。1年間お世話になりました。田中会長、田中幹事大変お疲れさまでした。また、理事役員の皆様もお疲れさまでした。

今年度、重要な事項であります会員増強について、委員長を始め皆様の努力もあり会員数が52

名となり一定の成果があったものと思っています。さらに会員が増えることを願っています。

副会長の責務は、会長不在の際に会議の議長を務める等会長の責務を代わりに行うことでした。今年度、急遽、例会に会長がいらっしゃらないという事態になり、食事が喉を通らないというようなことは幸いに起きました。出番はありませんでした。

それから、私の頭の中ではクラブ細則の改定作業のことがずっと気になっていました。業務過多により今年度間に合いませんでした。当クラブは和気あいあいとした雰囲気で大変良いことだと思っていますが、セレモニーや組織活動を行う上では調和のとれた引き締まったものにすべきと思っているところです。ロータリーの理念、地区・クラブのスローガンの下に活動を組織的に活動を行う上で、その運営方法等を定款、細則の定めに従って行うことが必要かと思っています。是非、定款、細則を見直して頂きたいと思います。

細則の改定案は、ある程度の案を作成し、田中会長にお示しているところです。標準定款との整合性、過不足の有無、各委員長、委員、役員の任務、役員選挙の方法が現状に合致しているか、戦略計画委員会の規定をどうするか等、さらに検討を加えて皆様にお示しできるようにして開地会長にお願いしたいと思います。

ありがとうございました。

幹事退任挨拶

田中 靖彦幹事



田中 寛エレクトから田中さん、田中さんと呼ばれ「幹事をお願いします。」と言われ、是非とも引き受けってくれと。田中 寛先生とは日大高校を通して繋がりが強かったために、Noとは言えませんでした。

そのままお受けしまして、所感 面倒くさいことになったなと思いました。

暫く前のいわゆる重役席が続いていたので皆様と一緒に話ができませんでしたので次年度（つまり今年度ですね。）は食事の時間を楽しみにしていたのですが、夢はかなく幹事を引き受けた時点で碎け散りました。

ま、そんなこんなで田中会長年度が始まったのですが、想像を超えて田中会長が熱くボルテ

ージが上がっておりましたのでついていくのが大変でした。

My Rotaryには『クラブ幹事は、クラブの効率よいスムーズな運営をサポートします。またクラブの強みと改善点を分析して、これをクラブと地区のリーダーに伝えます』と書いてあります。幹事と言う立場上、会長を補佐し支えていくのが役目だと思うのですが会長の熱に押されてばかりでした。

期間中は二度にわたるコロナ蔓延による休会。都度の柔軟な対応、行事の見直しにふりまわされました。また、幹事職を通して中部グループの会長幹事会（これ10グループあります）に出席をすることが出来ました。他のRCの方々と交流を果たすこともできました。南RC以外のロータリアンと交流できたことは僕にとりまして大きい収穫でした。

この幹事職を通して、ロータリークラブのルールであったり、事業、慣例、様々なことを知り、学びました。この慣例が曲者なのですね。参加してみて、活動してみて初めて知る。するとどうでしょうその先にまた未知の領域があることを知りました。

ロータリークラブが実に奥深くわずか数年では到底理解、経験できるものではないことも学びました。（ほどほどにしきやなか）この幹事職の経験を踏まえ、これからもロータリークラブ活動を通して少しづつ学び、吸収出来ればいいのかなと思いました。

未熟な幹事でしたが、一年間皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。